

令和7年度 学校関係者評価報告書

令和8年3月25日

都築教育学園

第一幼児教育短期大学附属

鹿児島第一幼稚園

1. 本園の教育目標

幼児の主体的な活動としての遊びの重要性を念頭に置きながら、一人ひとりの個性や良い特性を伸ばすことを心がけるとともに、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られるよう環境を工夫し、友達と十分にかかわって遊びや活動に取り組めるように配慮するなど、幼児期にふさわしい生活が展開されるような幼児教育を目指している。

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

令和7年度に取り組む課題として、年度当初に「協働の促進」「研修の強化」「子育て支援」を掲げていた。「協働の促進」については、職員同士の連携および保護者との連携がしっかりと図られるように努めたことにより、職員の自己点検評価では昨年度よりも高いポイントとなった。「研修の強化」では、個々の研修時間を確認の上、適切に研修受講を進めることができた。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育の実践	A	園の教育方針に基づき、年齢に応じた保育計画を立て、実践している。また、一人ひとりの個性を尊重して関わるように努めた。
2	安全管理・健康管理	A	戸外遊びや園外に出かける際など特に見守りの体制を強化するように努めた。
3	チームワーク・職員間の連携	B	他の教員と協力しながら保育を勧めることができた一方、職員会議の持ち方・内容などについては改善の余地がある。
4	保護者への対応	B	日常的に子どもの様子をこまめに伝えるように心がけているが、その頻度に職員間の差がみられた。適切な連携を心がけたい。
5	自己研鑽・スキルアップ	B	園で購入している保育専門誌に目を通す、定められた研修会に出席することなどはこれまで通り達成できているが、知識・技術を学び続けることについて、今後積極的に取り組みたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	令和7年度の重点項目のうち「協働の促進」「研修の強化」については、おおむね達成することができた。今後もより確実な職員間の連携を目指し、さまざまな工夫を行っていききたい。一方、「子育て支援」については、保護者対応について十分に行っていると自己評価した職員の意識と、保護者アンケート結果に表れた保護者の意識にずれがあることが明らかになった。保護者の思いを受け止め、家庭との連携の重要性を踏まえ、信頼関係の構築に努めていきたい。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子育て支援 (令和8年度)	保護者のニーズに合わせた子育て支援の取組が実践できるよう、家庭との連携の方法や預かり保育のニーズなどさまざまな観点から現状を見直していききたい。
2	研修の強化 (令和8年度)	日々のノンコンタクトタイムの確保を重点事項として、情報共有や保育の振り返りなどが効率的に行えるよう工夫していききたい。
3	健康管理 (令和8年度) (令和9年度)	感染症対策として、感染症発生時の家庭への連絡のあり方について見直しを行い、細やかな連絡体制を構築できるよう努める。

6. 学校関係者評価委員会の詳細

開催日	令和8年3月18日(水)
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一幼児教育短期大学 幼児教育科学生部長 ・ 法人事務局総務部長 ・ 保護者代表 ・ 幼稚園事務長 ・ 園長代理 <p style="text-align: right;">以上5名</p>
評価内容	<p>自己評価の結果と保護者アンケートの結果をもとに、今後の本園の取り組みについて以下のように提言をいただいた。</p> <p>1. 短大をはじめとした系列校との連携について 第一幼児教育短期大学の附属幼稚園という特色を生かし、短大</p>

をはじめ、法人内の系列校とはさまざまな形で連携が図られていることについては大変評価できる。今後は、福岡にある関連法人の系列幼稚園とも連携を図り、情報共有等を行うことを検討してはどうか。

2. 健康管理について

保護者アンケートの結果にもあるように、感染症が発生した際の連絡について、関係機関と連携を図りつつ、全家庭に周知することで、注意喚起につながり感染症対策となるのではないかと検討してほしい。